



はなのき

神坂小学校だより No.9 2022.10.24



挑戦した前期、高める後期

校長 高橋 浩之

小学校の2学期制も2年目を迎えました。前期終業式では、「学校が楽しい」と色々な体験をしてきた1年生が笑顔で話してくれました。6年生は、最高学年となり委員会や通学班など全校のためにがんばった話をしてくれました。前期を振り返ると多くの場面で成長した姿がみられました。

特に新しい取組として、今年は『木育』という学習を行いました。図画工作を兼ねながら市内で工房を営んでいる講師の方に来校していただき、中津川市の木の素晴らしさや木材を活用した作品作りなどを指導していただきました。外部の方との出会いは、子ども達にとってとても貴重な機会です。子ども達は、臆することなく接することができ、制作では想像を膨らませ素敵な作品を作り上げました。



また挨拶運動では、中学校と連携を図り、子ども達で話し合い、あいさつのぼり旗を作成しました。学校での挨拶をさらに高め、地域に広めていきたい思いを表現しています。学校では定着している挨拶ですが、なかなか地域でその成果が出ないことを子ども達なりに考え、挨拶は心のキャッチボールであり、相手を思う気持ちを表しているの、明るく、元気に、先がける意識を今後も意識していくことを決意しました。

地域でのかかわりでは、敬老行事において、子ども達が作成したメッセージカードをお渡ししたところ、多くの感謝のお手紙等をいただきました。コロナ禍で実施が難しかったため、地域の高齢者の方とのつながりが少なくなりましたが、心温まるお手紙をいただき、子ども達はさらに神坂を大切に思うことができました。廊下にいただいた手紙を掲示したところ、笑顔でその手紙を読む子ども達がとても印象的でした。

後期もこのような出会いや取組の機会を大切に、相手を思う気持ちを持ち、困難に立ち向かう強い気持ちを養えるよう取り組んでいきます。



ふるさと神坂総合文化祭

11月12日(土)に中学校体育館にて文化祭を開催します。コロナ禍での開催のため、様々な制限はありますが、昨年より緩和されたこともあり、中学校と連携をし、幼稚園や保護者、来賓として学校評議員を招いて開催を予定しています。各学年の発表や全校で行う三味線活動を披露します。当日の様子は、ホームページでも紹介しますので楽しみにしててください。